

「堂々川；人も自然も生きている II」

2023（令和5）年1月28日 堂々川ホテル同好会情報誌 2022年度第8号（創刊214号）

1. 兎年、本年も宜しくお願い致します。1月15日の定例会は小雪が散る寒い日で、参加は18人。最近増え始めたポイ捨てゴミ拾いと5番砂留下の草刈が中心の作業。
2. 福山城400年博-FUKUYAMA CASTLE EXPO 市民企画事業に応募して報告書を提出、井原放送さんに委託してDVDを作成、110枚をコピーして関係者にお渡した。会員の方で欲しい希望者は会長・乗藤副会長又は土肥に声をかけてください。

1月15日の作業は5番砂留下の川と斜面の草刈り、そして猪に掘られた5番川原等の彼岸花の補修でした。6番砂留下方道路脇と5番川原遊歩道の彼岸花球根を約800球植栽。定例会以外に有志による電気柵の設置が続いていますが1セットが3万円弱かかる為ボランティア団体の財政は厳しいです。猪の箱罾は免許資格の人が辞められたので箱罾を返却しましたが再度別の人をお願いします。御領・中条山は想像以上に猪が増えているようで、昼間・夕方闊歩しているのを見かけま

3. 目で見せる事例



今年もよろしく 私・兎です



1月の参加メンバー



彼岸花場を補修する



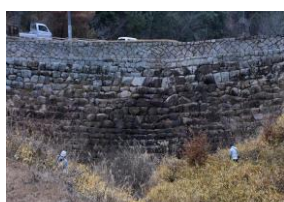
6番砂留下方を荒らされる



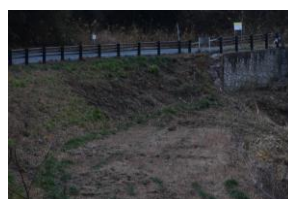
5番川原遊歩道 嘩然と・・・



5番砂留下方の草刈り



斜面の草刈り 慎重に



猪が荒らす5番下方道路寄り



新しく箱罾を設置される

4. 次回定例会

3月は未定（日曜日） 集合場所 1番砂留 8:30~10:30

作業内容：猪被害場所の修復 砂留整備 ごみ拾い ホテルの飛翔準備

5. 発行責任者 堂々川ホテル同好会 会長 中山晋一
6. 会の活動を行う為保険に入ります。参加される前々日午前中には参加の連絡をお願いします。安全は活動の原点です。

「この活動は一般財団法人セブン・イレブン記念財団の助成を受けて実施しています。」



会の活動名「ホタルと花と砂留と」

私たちの活動テーマはホタル（環境保全のシンボル）彼岸花（不法投棄防止の対策）砂留（下流の人々の安全を担保）ですが今回のテーマは砂留と川沿いの昔ばなしです。堂々川（大原池は堂々川流域と決めます）2018年12月発刊の「神辺の砂留」冊子をご覧くださいいただければよくわかります。1640年代東中条大倉地区の大原に堤防を造り、神辺川までの約4kmと！小さな溪流でも時々大暴れをします。1673年には梅雨の雨と台風が重なり大原池の堤防が決壊、下流3kmにある国分寺や西国街道、銀山街道の交点の住人63名が亡くなり、国分寺境内と88カ所1番札所に慰霊碑があります。大災害を契機に水野勝胤城主は砂留建設を提案されました。1700~1800年代にこの流域に16基の砂留が築造され、2006年には国の登録有形文化財に認定されています。令和の現在砂防堰堤は45基を数えております。備後地域の他の砂留とは違い、風光明媚で道路が整備され安全ですが最近猪被害が増大し、ホタルの会員は対策に苦勞しております。

◎ 会設立当時の苦戦日記



2006年5月2番砂留



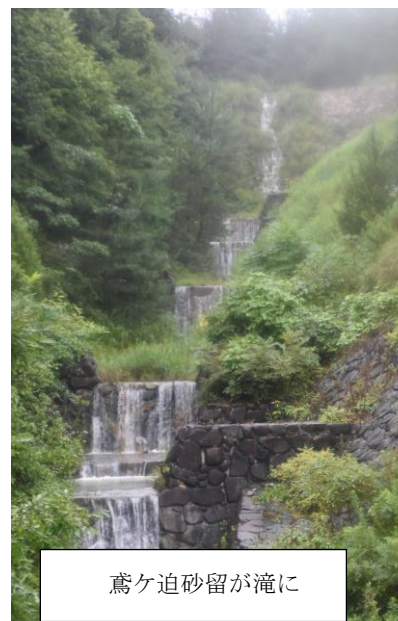
2006年5月5番砂留川原



2006年4月第1回の清掃



谷の入り口の草を刈ると湧き出るとごみと黒い水

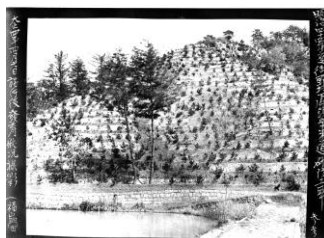


鳶ヶ迫砂留が滝に

☆ 堂々川の昔話！



中条と御領の20年裁判3次元地図
1875年堂々川の帰属問題発生



大正4年の5番砂留
砂留が池の堤防？



堂々川下流域の良松
昭和30年代枯れる

私たちボランティア団体の活動は創立から19年、福山の新しい観光地に育てました。